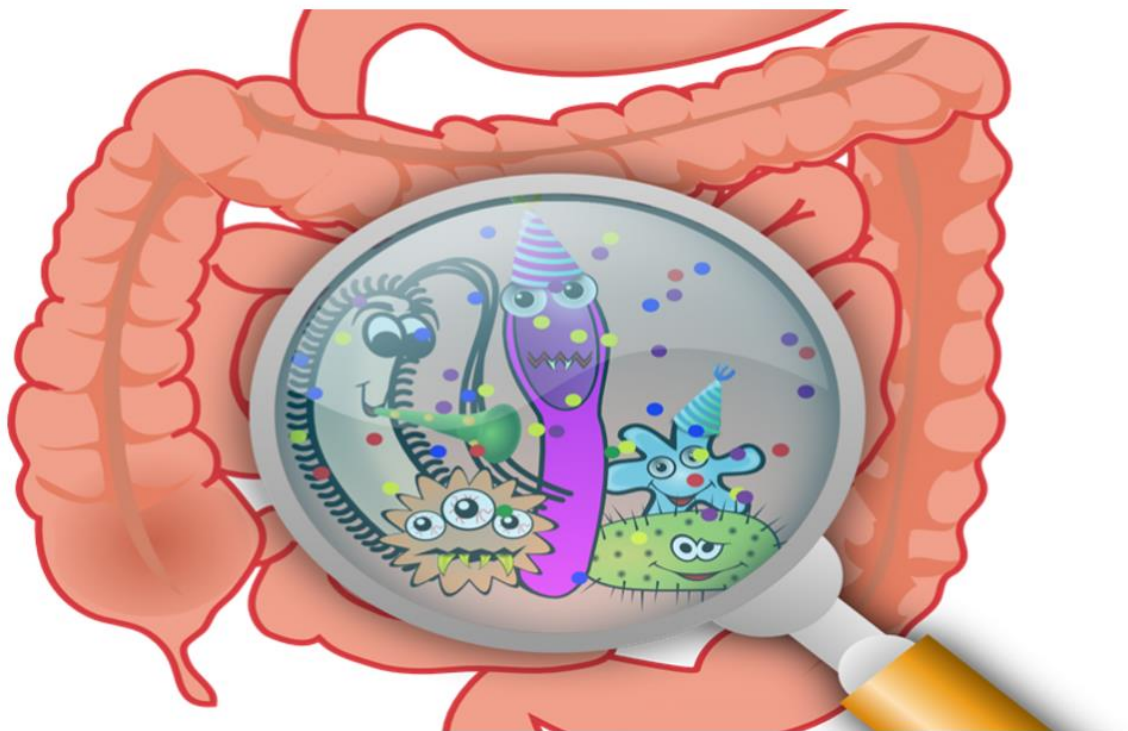
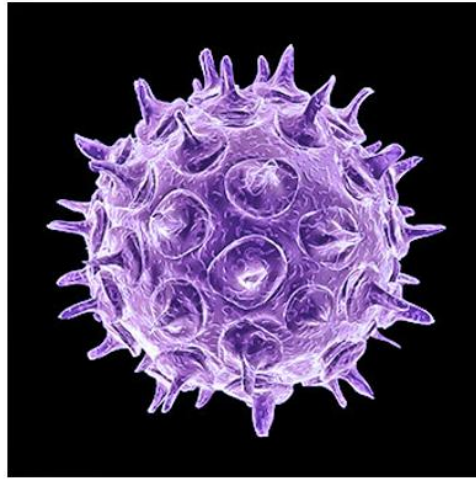


ノロウイルスによる感染症

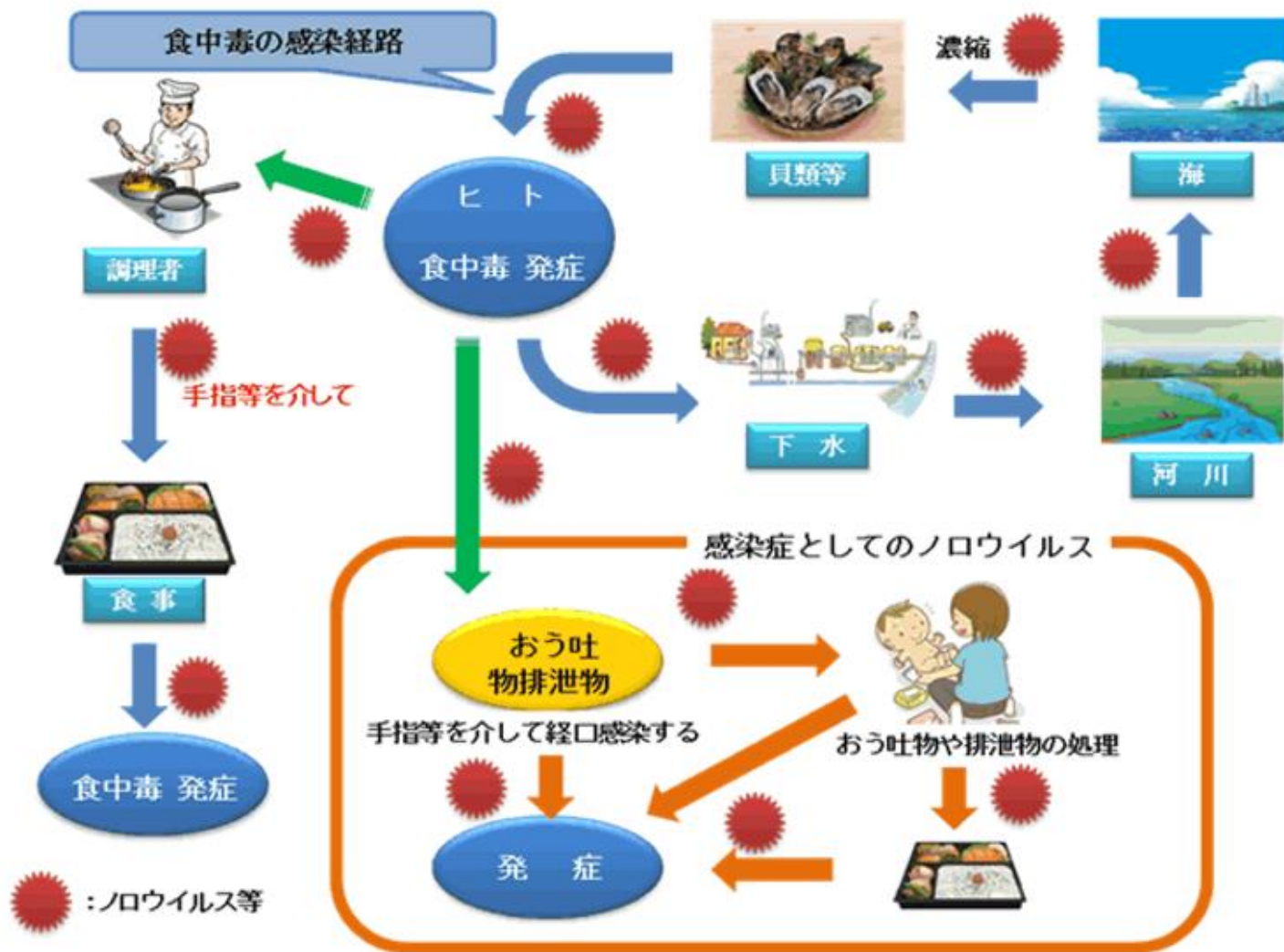
ノロウイルス感染による胃腸炎は、毎年秋から冬にかけて流行します。





ノロウイルス

病原体が付着した手で口に触れたり（接触感染）、汚染された食品を食べることにより（経口感染）感染します。



神奈川県衛生研究所 衛研ニュースNo.156より引用

カキなどの二枚貝を調理するときは、中心部まで十分に加熱しましょう



潜伏期間は1～3日程度です。

● 症状は？

ノロウイルスによる胃腸炎では、吐き気、おう吐、下痢、発熱、腹痛など。

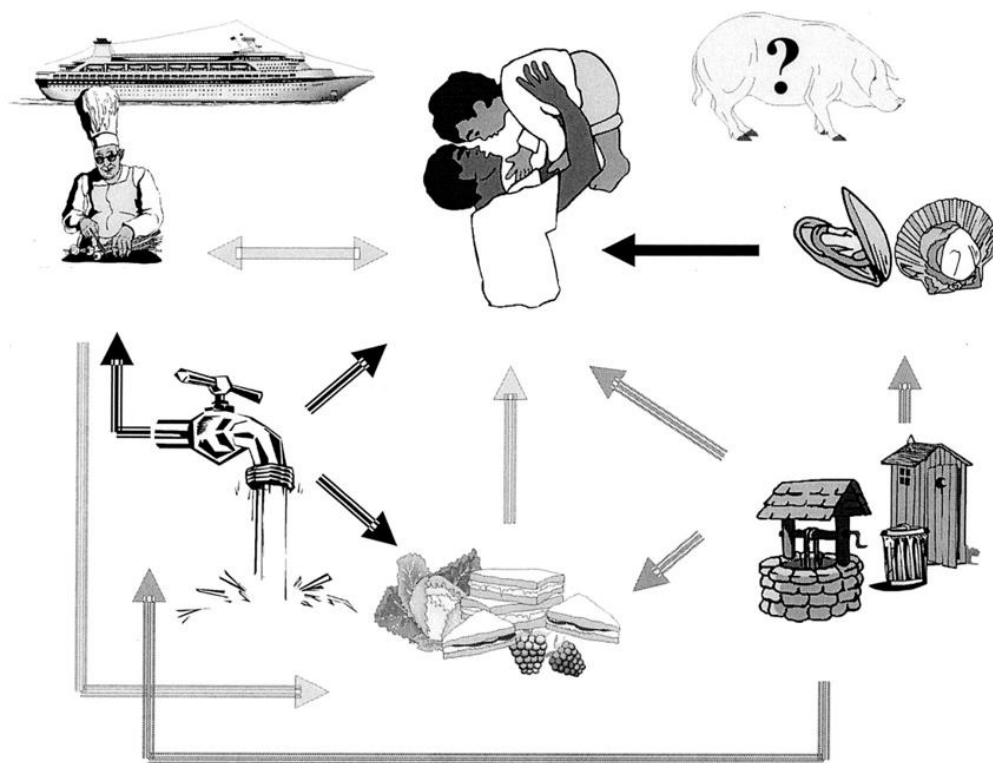
小児ではおう吐、成人では下痢が強い傾向にあります。

有症状期間は平均 24～48 時間。



● 二次感染は？

症状回復後も、1～2 週間は糞便中にウイルスを排出し続けます。そのため、二次感染にも注意が必要です。また、感染して発症しない人（不顕性感染）からの感染拡大にも注意が必要です。



● 診断は？

通常は症状から診断されます。迅速診断キットによる抗原検査や病源体の検出も可能ですが、**保険適応が限られています。**



3歳未満の乳幼児や65歳以上の高齢者で重症になる恐れがある場合に保険が適用されます。また、ガン、臓器移植後、抗がん剤や免疫抑制剤を服用されている方にも保険が適用されます。

● 治療は？

特別な治療法は無く、症状に応じた対症療法が行われます。

乳幼児や高齢者では下痢による脱水に注意が必要です。高齢者は、誤嚥による肺炎にも注意が必要です。

早めに医療機関を受診しましょう。



● 予防は？

ノロウイルスについては、予防接種はありません。

トイレの後や、調理・食事の前には、石けんで十分に手を洗いましょう。



便や吐物を処理する時は、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、処理後は石けんで十分に手を洗いましょう。カキなどの二枚貝を調理するときは、中心部まで十分に加熱しましょう。

